

平成 30 年度

海外農業・貿易投資環境調査分析事業のうち
ロシアにおける病院食等展開推進委託事業実施報告書

東京都新宿区西新宿 2-1-1 新宿三井ビル 26 階
株式会社 JTB 新宿第 2 事業部

目次

事業の概要.....	- 3 -
本事業の目的	- 3 -
本事業の実施項目	- 4 -
【コンセプト】ロシアの高齢化社会へ向けた介護領域へのアプローチ	- 4 -
関連事業者	- 5 -
事業の実施内容	- 6 -
1 介護食品や機能性食品等のテスト導入にあたっての事前準備	- 6 -
1) 日本側事業参加者の公募	- 6 -
2) ロシア側のニーズの把握	- 8 -
3) 病院食等のテスト導入までの流れ	- 14 -
4) EAC マーク取得支援	- 14 -
5) 「黄金の秋」における日本の介護食や機能性食品の紹介及びアンケート調査	- 18 -
2 介護食品及び機能性食品等のテスト導入	- 23 -
1) 介護食品及び機能性食品等のテスト導入にあたって	- 23 -
2) 日本の介護食品及び機能性食品等の試食・アンケート調査	- 23 -
3) 日本・ロシア連携による嚥下食に関する開発・改良された食品のテスト導入	- 25 -
3 嚥下食や機能性食品等のロシアの病院食へのテスト導入	- 26 -
1) 医療・栄養学のカンファレンスでの嚥下食の調理実演と病院での意見交換	- 26 -
2) 嚥下食や機能性食品等のロシアの病院食へのテスト導入の実施	- 32 -
4 ロシア向け病院食レシピの開発	- 36 -
1) 日本とロシアの専門家の連携による病院食レシピの開発	- 37 -
2) ロシア病院食等事業関係者の日本招へい	- 41 -
3) 農林水産省 食料産業局とロシア高齢者クリニック間の協力に関する覚書の署名	- 41 -
4) A 社における「流動食・高齢者食品の取組について」に関する意見交換	- 42 -
5) 中村丁次博士による「日本の公衆栄養学」セミナー	- 43 -
5 まとめ	- 44 -
6 各事業取組みにおけるアンケート調査結果	- 47 -

事業の概要

ロシアの高齢化社会へ向けた介護領域へのアプローチ

平成 28 年 5 月の日露首脳会議において、安倍総理からプーチン大統領に提示された 8 項目の日露経済協力プラン（(1) 健康寿命の伸長、(2) 快適・清潔で住みやすく、活動しやすい都市作り、(3) 中小企業交流・協力の抜本的拡大、(4) エネルギー、(5) ロシアの産業多様化・生産性向上、(6) 極東の産業振興・輸出基地化、(7) 先端技術協力、(8) 人的交流の抜本的拡大）の具体化に向けた動きが加速しています。

このうち、農林水産省では、ロシアの健康寿命の伸長に役立つ協力として病院食・介護食品分野における協力を行っています。日本と同様に高齢化社会が進むロシアにおいては、食の安全性を踏まえた健康寿命の伸長へとつながる高品質な病院食、介護食品、機能性食品が求められています。本事業では、ロシア側研究機関・病院をはじめダイエットドクター、管理栄養士、日本とロシアをつなぐ食と医療関連事業の現地コンサルタントが連携して、ロシアの病院及び薬局において日本の介護食品、機能性食品及び病院食のテスト導入等を実施しました。

本事業の目的

本事業は、平成 28 年 5 月の日露首脳会談で安倍総理からプーチン大統領に提示された 8 項目の「日露経済協力プラン」のうち、「健康寿命の伸長―医療水準を高め、ロシア国民の健康寿命の伸長に役立つ協力」の一環として実施されました。

平成 29 年度、農林水産省はロシアにおいて日本式の病院食等の提供に向けた基礎データを収集、日露双方関係者の関心度合い等を調査した結果、ロシアにおいて介護食や機能性食品、病院食等を提供する場合には、一般の食品としての認証基準やロシア語表示への対応に加え、ロシア保健省の定めた基準を満たす必要があること、また、調査をより掘り下げ、課題や対応方向を明らかにする必要があることを認識するに至りました。他方で、ロシア側関係者からは、日本の技術力・知見を活用し、ロシアの市場に合った商品を共同で研究開発していきたいという要望を多く聞き取ることができました。

本事業の目的は、ロシアへの展開に関心のある日本の介護食や機能性食品、病院食等の関係者（日本側参加者）とロシアの病院や食品の開発等に関する公的機関（ロシア側参加者）等が連携し、現地のニーズに対応した商品等を選定、テスト導入し、その結果を検証することにより、ビジネスベースの具体的展開に繋げていくことです。

また、テスト導入を通じて、ロシアへの展開に際して必要な認証や許認可取得手続き等の情報や要件等への対応方向等を日本側参加者と共有し、多くの日本の介護食や機能性食品、病院食等事業者のロシア展開を推進するものです。

本事業の実施項目

- (1) 介護食品や機能性食品等のテスト導入にあたっての事前準備
- (2) 介護食品や機能性食品等のテスト導入
- (3) 介護食品や機能性食品等のロシア病院食へのテスト導入
- (4) ロシア向け病院食レシピの開発

【コンセプト】ロシアの高齢化社会へ向けた介護領域へのアプローチ

日本の介護食品及び病院食等によるロシアの健康寿命伸長への寄与を目指して
高齢化社会が進むロシアにおいて、現地ダイエットドクター、日本とロシアをつなぐ食と医療関連事業の現地コンサルタント、日本の管理栄養士そして医学博士協力のもと、薬局、病院へと介護食・機能性食品を長期的な視点で展開していくものです。



関連事業者

日本業界団体

- 日本介護食品協議会
- 公益財団法人 日本健康・栄養食品協会
- 日本メディカルニュートリション協議会
- 一般社団法人 日本流動食協会

日本個別企業

- （社名非公表）12 社

日本研究機関

- 公立大学法人神奈川県立保健福祉大学
- 国立循環器病研究センター

ロシア側事業者

- 連邦栄養・バイオテクノロジー研究センター（栄養研究所）
- ロシア高齢者科学クリニックセンター（高齢者クリニック）
- ヨーロピアンメディカルセンター（EMC）
- ロシア鉄道中央ヘルスケアセンター（鉄道病院）
- ABC メディツィナ（ABC 薬局）

事業の実施内容

1 介護食品や機能性食品等のテスト導入にあたっての事前準備

日本の介護食品や機能性食品等の製造・販売事業者、病院食等提供事業者（日本側参加者）とロシアの病院や食品の開発等に関する公的機関（ロシア側事業参加者）が連携し、日露双方のテスト導入参加者、日本側テスト導入品目等の選定、必要な認証や許認可取得手続き等、テスト導入に際し必須となる事案を精査し、段階的に取組みました。

1) 日本側事業参加者の公募

テスト導入を円滑に実施するため、担当職員との協議の上、日露双方の事業参加者に協力を仰ぎました。

（１）日本側参加者

- ・農林水産省食料産業局企画課
- ・関係団体（介護食協会・日本健康栄養食協会・メディカルニュートリション協会・流動食協会）

（２）ロシア側参加者

- ・連邦栄養・バイオテクノロジー研究センター（栄養研究所）
附属病院 院長 Zainudinov Zainudin Musaevich Mr.
附属病院 副院長 Starodubova Antonina Vladimirovna Ms.
- ・ロシア高齢者科学クリニックセンター（高齢者クリニック）
副センター長 Kotovskia Yulia Viktorovna Ms.

ア 関係団体等を通じた公募

【日時】平成30年6月4日～28日

以下の関係団体を通じて本事業を告知する案内メールを発信し、日本側事業参加者の公募を実施しました。

【関係団体】

- 日本介護食品協議会
- 日本メディカルニュートリション協議会
- 一般社団法人 日本流動食協会
- 公益法人 日本健康・栄養食品協会

イ LAPITA を通じた公募

JTB が運営するグローバル事業支援支援サイト「LAPITA」(<http://www.lapita.jp/>)を通じて応募を受け付けると同時に、同サイトの会員7,000社に対して本事業の告知を行いました。

日本企業グローバルビジネスサポートLAPITA (JTB)

問い合わせメルマガ登録

平成30年度海外農業・貿易投資環境調査分析事業のうち ロシアにおける病院食等展開推進事業

～日本の介護食品、機能性食品等をロシアへ～

ロシアの高齢化社会へ向けた介護領域へのアプローチ

2016年5月、日本から提案された8項目の日露協力プラン（（1）健康寿命の伸長、（2）快適・清潔で住みやすく、活動しやすい都市作り、（3）中小企業交流・協力の抜本的拡大、（4）エネルギー、（5）ロシアの産業多様化・生産性向上、（6）極東の産業振興・輸出基地化、（7）先端技術協力、（8）人的交流の抜本的拡大）の具体化に向けた動きが加速しています。

この一環として、農林水産省では、海外農業・貿易投資環境調査分析事業のうちロシアにおける病院食等展開推進事業を実施いたします。

日本同様、高齢化社会が進むロシアにおいては、食の安全性を踏まえた健康寿命の伸長へとつながる高品質な介護食品や機能性食品、病院食が求められています。

本事業ではロシア側（モスクワ）研究機関・病院をはじめ、日本とロシアをつなぐ食と医療関連事業の現地コンサルタント、日本の専門家が連携して、ロシアの病院や薬局へのテスト的導入・病院食等のレシピ共同開発および日本の病院食のオペレーション指導を実施いたします。

欧州最大の人口1億4000万人を抱えるロシア市場への進出を検討中の企業様、ロシアにおける事業可能性の調査をお考えの企業様はぜひ、この機会に本事業への参画をお願い申し上げます。

1. 介護食品や機能性食品等のテスト的導入

- ロシアの薬局や売店において、日本の介護食品や機能性食品等をテスト的に導入します。（サンプル配布やテスト販売など）
- テスト導入時にアンケート調査を行い、現地の嗜好に合った商品への改良・開発を行います。
⇒ アンケート調査を通じて、現地の嗜好に合った商品の改良や販路の開拓に役立てていただけます。

<事業での支援内容（※1）>

ウ 公募結果（応募数、企業・団体名、商品名・商品概要）

公募の結果、11 社より 41 品目の応募をいただきました。

2) ロシア側のニーズの把握

ニーズ把握のために訪問等を行ったロシアの機関

- ①連邦栄養・バイオテクノロジー研究センター（栄養研究所）及び同附属病院
- ②ロシア高齢者科学クリニックセンター（高齢者クリニック）
- ③ヨーロッパアンメディカルセンター（EMC）
- ④ロシア鉄道中央ヘルスケアセンター（鉄道病院）

①連邦栄養・バイオテクノロジー研究センター（栄養研究所）及び同附属病院

【日時】平成 30 年 7 月 31 日

【出席者】

（附属病院）Zainudinov Zainudin Musaevich Mr. 院長

Starodubova Antonina Vladimirovna Ms. 副院長、栄養研究所学術/治療部門所長代理

（栄養研究所）Nikitjuk Dmitry Borisovich Mr. 所長

Tutelyan Viktor Aleksandrovich Mr. 学長

Starodubova Antonina Vladimirovna Ms. 学術・治療部門所長代理

（兼 附属病院副院長）

Smirnova Elena Alexandrovna Ms. 事務長

最初に栄養研究所附属病院を訪問し、病院長をはじめ現場で働いているドクター10名程度に対し、日本から持参した介護食品及び機能性食品等のプレゼンテーションを行い、試食していただいた上で意見交換を実施しました。附属病院は高血圧や生活習慣病の患者を多く扱うため、高齢者向け食品への関心は高くないが、C社乳酸菌機能性食品（500ml）については強い関心に加え、「ぜひ協力したい」との意向が示されました。また、低糖質麺やクロレラにも関心が示され、病院の専門分野に合致した商品やロシア国内で流通していない商品に対する関心が伺えました。続いて、栄養研究所を訪問し、日本側から病院食事業の今後の計画等を説明した上で、所長らと今後の教育のあり方について議論を行いました。この中で日本側と協力するにあたり、農林水産省と栄養研究所（またはロシア保健省）との間で協力に関するMOUを結び、その下で企業等との契約を行い、具体的な協力を進めるという提案がなされました。具体的な協力としては、商品の認証取得に向けた臨床検査を同研究所で実施すること、日本企業と協力して共同で製品開発をすること、日本の食品を附属病院で導入することの3事項が提案されました。

試食の結果、判明したニーズ

- ・甘さを抑えたものが良い
- ・天然原料使用も、特殊性がほしい
- ・栄養補給・ダイエット・特定機能
- ・臨床検査の必要、機能性食品としての証明
- ・ロシア顧客が求める味の開発

【写真】連邦栄養・バイオテクノロジー研究センター（栄養研究所）



【写真】連邦栄養・バイオテクノロジー研究センター（栄養研究所）附属病院



②ロシア高齢者科学クリニックセンター（高齢者クリニック）

【日時】 平成 30 年 8 月 1 日

【出席者】

Kotovskaia Yulia Viktorovna Ms. 科学課 課長

Runikhina Nadezhda Konstantinovna Ms. 高齢者課 課長

Ostapenko Valentina Sergeevna Ms. 老人病医師

Tyukhmenev Evgeniy Aleksandrovich, Mr. 外来部門長

日本側から病院食事業の今後の計画等を説明するとともに、日本から持参した介護食品及び機能性食品等のプレゼンテーションを行い、試食していただいた上で意見交換を実施しました。高齢者クリニックにおいては、栄養研究所と同様に、日本との協力の強い関心が示され、日本とのプロジェクトを前に進めたいという趣旨の発言がありました。高齢者向けの食品である A 社栄養補助食品、B 社栄養補助食品、D 社介護食品を中心に紹介したところ、いずれの商品も高評価でした。

試食の結果、判明したニーズ

- ・ロシア顧客が求める味の展開
- ・価格の調整

【写真】 ロシア高齢者科学クリニックセンター（高齢者クリニック）





③ヨーロッパ医療センター（EMC）

【日時】平成30年8月2日

【出席者】

Russ Irina Sergeevna Ms. 栄養医師
Batsmanova Raksana Arslanovna Ms. 看護師
Galeeva Olga Ravilevna Ms. 栄養医師
Gardashnik Rozanna Isaakovna Ms. 子供病院の主治医

日本側から病院食事業の今後の計画等を説明するとともに、日本から持参した介護食品及び機能性食品等のプレゼンテーションを行い、試食していただいた上で意見交換を実施しました。

かねてから日本商品全般の品質や信頼性の評価が高く、持参した商品の中でもD社水分補給ドリンクゼリー及び栄養補給ゼリー、A社栄養補助食品・コーンスープ味などの高齢者商品に対する強い興味が伺えました。

試食の結果、判明したニーズ

- ・嚥下障害者用食品としての展開
- ・栄養補給源として
- ・価格調整

【写真】ヨーロッパ医療センター（EMC）



④ロシア鉄道中央ヘルスケアセンター（鉄道病院）

【日時】平成30年8月2日

【出席者】

Babaev Andrey Gennadievich Mr. 物流部長

Dianova Nuria Khasanovna Ms. 主栄養士

Terentiev Oleg Konstantinovich Mr. 物流部門の主任エンジニア

日本側から病院食事業の今後の計画等を説明するとともに、日本から持参した介護食品及び機能性食品等のプレゼンテーションを行い、試食していただいた上で意見交換を実施しました。日本の病院内で提供される病院食や治療食に興味を持っており、病院食の分野に積極的な反応がありました。

試食の結果、判明したニーズ

- ・甘さ（砂糖）を抑えたもの
- ・化学成分表、配合情報の提示

【写真】ロシア鉄道中央ヘルスケアセンター（鉄道病院）



3) 病院食等のテスト導入までの流れ

- (1) 介護食品・機能性食品の特性を踏まえてテスト導入用商品を選定
- (2) 選定商品確定後、日本の各企業とロシア法人輸入企業間で契約書を締結（1～2 ヶ月）
- (3) ロシア国内で流通するために必要な適合証明書（EAC）取得に向け、検査用サンプルに関する情報及び通関書類を通関業者に提出
- (4) EAC 発行機関から税関に対し、検査用サンプル通関を証明するレターを発行（1～2 週間）
- (5) 検査用サンプル通関後、安全性検査を実施。問題なければ EAC 発行機関が適合証明書を発行（1～2 週間）。
- (6) テスト導入商品の EAC 取得証明シールは日本国内で貼付（1～3 週間）。
- (7) 病院との間でテスト導入の規模、内容、期間等を確定する（2 ヶ月）。
- (8) 病院が対象患者を選定する（1 ヶ月～）。
- (9) サンプルを病院に納入する（1 ヶ月）。※（8）（9）は平行して行うことが可能。
- (10) テスト導入の実施（10 日間～）。
- (11) 調査票の回収（2 週間～1 ヶ月）。
- (12) 病院からのフィードバック（テスト導入終了から1 ヶ月～）。

※上記は治療食としてではなく、一般の食品としてのテスト導入を行う場合の流れ

※（ ）内は、手続きに要した期間（栄養研究所の場合）。

4) EAC マーク取得支援

ロシアをはじめとするユーラシア経済同盟加盟国への輸出に際し、ユーラシア経済委員会の技術規則に基づいた安全・認証マーク「EAC マーク」の表示が必須となっています。

本事業では、テスト導入を行う介護食品及び機能性食品について EAC マークの取得を支援しました。

【介護食品及び機能性食品の EAC マーク取得までの流れ】

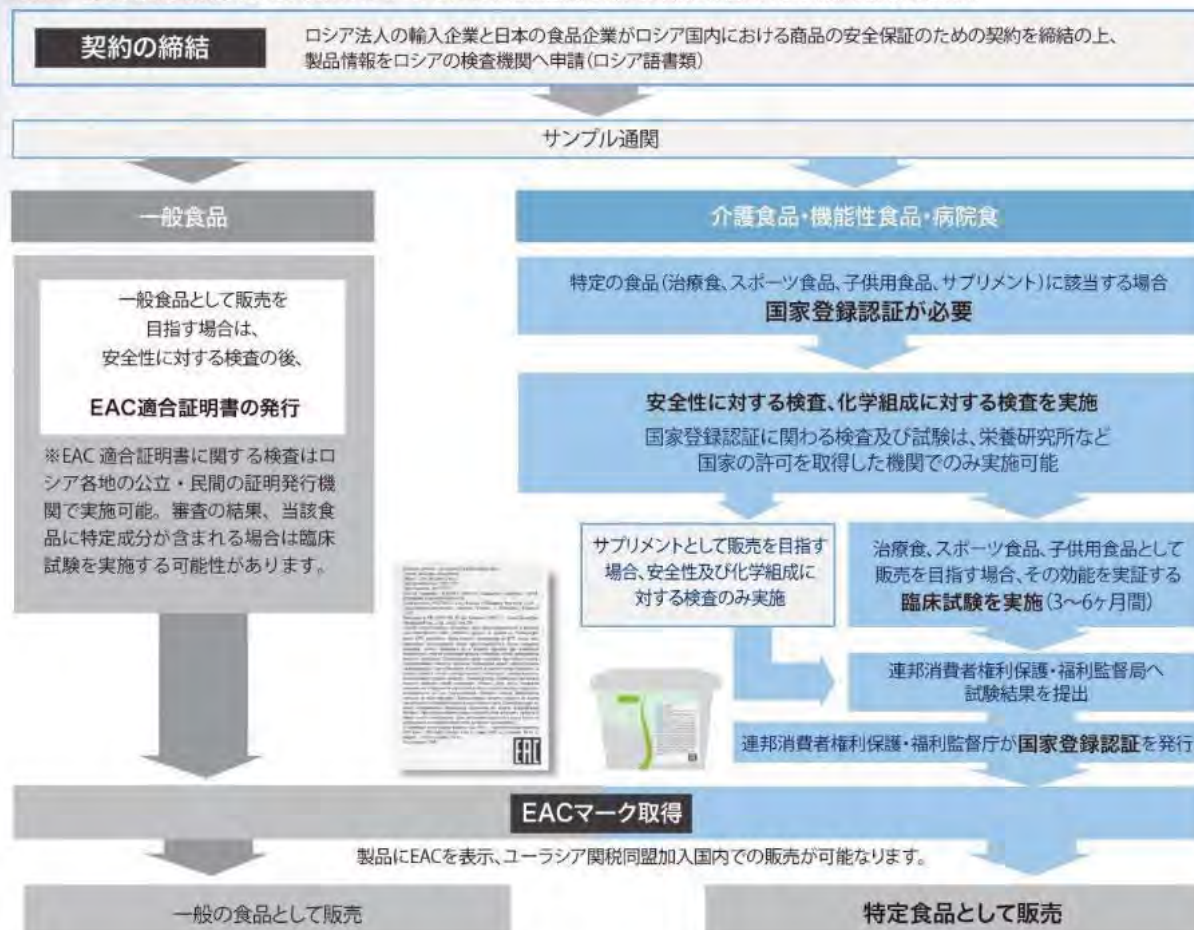
介護食品及び機能性食品のロシアへの輸出には、一般食品の EAC 申請以外に公的機関の臨床試験（3～6 ヶ月）をクリアする必要があるため、早期の申請準備が必要となります。
輸入者としての定款を持つロシア法人企業のみが EAC 認証の申請を行えます。

介護食品及び機能性食品のEACマーク取得までの流れ

介護食品及び機能性食品のロシアへの輸出には、一般食品のEAC申請以外に公的機関の臨床試験(3～6ヶ月間)をクリアする必要があるため、早期の申請準備が必要となります。

EACマークとは

ロシアをはじめとするユーラシア経済同盟加盟国への輸出には、ユーラシア経済委員会の技術規則に基づいた安全・認証マーク「EACマーク」の表示が必須となっています。EACマークは、ロシア法人企業のみがEAC発行機関に対して取得申請を行えます。



【EAC マーク取得の具体的手順】

- ・メーカー（輸出者）と EAC 認証取得申請者（輸入者）との間で、申請者（輸入者）を対象商品のユーラシア関税同盟内における責任者と定める契約を締結する。（本商流の場合、申請者（輸入者）が対象商品のユーラシア関税同盟内における輸入販売者となる契約）
- ・物流業者・通関業者を決定する。
- ・輸入者が輸出者との間で対象商品の売買あるいは無償提供に関する契約書を締結する。
- ・輸入者による Invoice/Packing list の作成、当 Invoice/Packing list 上には税番を記載する。

- ・輸出者または輸入者が、対象商品の成分表（パーセンテージ表示）、規格書（商標、製造者、容量、原材料、栄養成分表示、パッケージ画像、包装単位（ケースなど）、使用上の注意、賞味期限、製造年月日などの情報が記載されている）を物流業者（税関ブローカー・通関士）に提出する。
- ・物流業者・通関業者が EAC 発行機関からのレター、輸入に関する契約書、Invoice/Packing list、成分表、規格書を元に通関の準備をする。
- ・税関によって、最終的に税番が確定する。

EAC 発行機関附属、あるいは個別の検査機関にて安全性に関する検査を実施する。

検査を通過した場合、EAC 発行機関が EAC 認証を対象商品に付与する。

全 15 種類の商品に対し、EAC 認証を取得。

企業名	商品名
A 社	栄養補助食品 (125ml) 4 種類 (風味別)
B 社	栄養補助食品 (100ml) 4 種類 (風味別)
C 社	乳酸菌機能性食品 (500ml)
D 社	栄養補給ゼリー 3 種類 (風味別)、水分補給ドリンクゼリー、とろみ材、ゼリー化材

EAC 認証 (例) D 社 水分補給ドリンクゼリー)

商品に添付した EAC ラベル (一例)

ЕВРАЗИЙСКИЙ ЭКОНОМИЧЕСКИЙ СОЮЗ
ДЕКЛАРАЦИЯ О СООТВЕТСТВИИ

Заявитель: ОБЩЕСТВО С ОГРАНИЧЕННОЙ ОТВЕТСТВЕННОСТЬЮ "ЭМ ТИ СИ ДЖАНАН"
Место нахождения (адрес юридического лица) и адрес места оказания и/или реализации:
190021, РОССИЯ, ГОРОД САНКТ-ПЕТЕРБУРГ, ПРОСПЕКТ МОСКОВСКИЙ, ДОМ 3А, ЛИТЕР В,
помещение 501, ОГРН: 1122408020057. Номер телефона: +7 8075221390. Адрес электронной
почты: natasha@emtsi.ru
В лице директора ШАРЫГИНОЙ НАТАЛИИ ВЯЧЕСЛАВОВНЫ
заявляет, что Натуральное безалкогольное: сок/сочевит Итогония Дели.
Итогония Дели: NUTRI Co., Ltd.
Место нахождения (адрес юридического лица): ЯПОНИЯ, город Йокогамы, Фудзи-но, 1-122.
Адрес места осуществления деятельности по изготовлению продукции: ЯПОНИЯ, город Токио, Хонсю 3-2-20.
Код ТН ВЭД ЕАЭС: 2202991900
Серийный выпуск:
Соответствует требованиям:
Технический регламент Таможенного союза "О безопасности пищевой продукции" (ТР ТС 021/011);
Технический регламент Таможенного союза "Требования безопасности пищевых добавок, ароматизаторов и технологических вспомогательных веществ" (ТР ТС 029/010);
Технический регламент Таможенного союза "Пищевая продукция в части ее маркировки" (ТР ТС 022/011)
Декларация о соответствии принята на основании протокола лабораторных испытаний № 464753 от 21.02.2016 Исполнительной лаборатории пищевых продуктов, общей и материаловедения
Федерального бюджетного учреждения "Федеральный региональный центр стандартизации, метрологии и испытаний в Санкт-Петербурге и Ленинградской области", аттестат аккредитации № РОСС RU.0001.21ПН87 Система декларирования: 3а
Дополнительная информация: Упаковка хранения: хранить в защищенном от света месте при комнатной температуре. Избегать прямого попадания солнечных лучей, нагревания и высокой влажности. Срок годности 180 суток. ООО "ЭМ ТИ СИ ДЖАНАН" - уполномоченное изготовителем лицо на основании договора № 42019.12 от 19.12.2019.
Декларация о соответствии действительна с даты регистрации по 26.02.2022 включительно

(подпись)

ШАРЫГИНА НАТАЛИЯ ВЯЧЕСЛАВОВНА
(И.И.О. заявителя)

Регистрационный номер декларации о соответствии: ЕАЭС N RU.Д.П.СП.30.0150119
Дата регистрации декларации о соответствии: 27.02.2019

Наименование: Итогония Дели
Состав: желирующее вещество (загуститель), цитрат натрия, подсластитель (свежесть), аскорбиновая кислота, ароматизатор, лимонный сок, лимонная кислота, сахаринат натрия, сульфат магния.
Масса: 100 мл.
Дата производства: 2018/11/21
Срок годности: 2019/05/19
Способ хранения: Избегать прямого попадания солнечных лучей, нагревания и высокой влажности. Хранить в защищенном от света месте при комнатной температуре.
Производитель: NUTRI Co., Ltd., Япония, г. Йокогамы, Фудзи-но, 1-122.
Предприниматель: Тасуэ, Ясунори, г. Токио, Хонсю 3-2-20.
Импортер в РФ: ООО «ЭМ ТИ СИ ДЖАНАН» 190021, г. Санкт-Петербург, Московский пр., д. 3а, лит. В, пом. 501
Способ употребления и дозировка, меры предосторожности: отделить склянку/банку из-под вакуумной части упаковки, повернуть бутылку. Потянуть верхнюю часть и открыть. Меры предосторожности: Не использовать сразу после вскрытия упаковки. Изображения глянцевой поверхности от повторного использования не являются упаковкой. Не использовать продукт, если вы обнаружили нарушение целостности или ненормальный вид упаковки, а также нарушения в цвете, запахе и вкусе продукта после вскрытия упаковки. Упаковка или удар могут стать причиной нарушения целостности упаковки. При заморозке свойства продукта теряются. Не замораживать продукт. При сдвигании упаковки возможен вытекс содержимого наружу. Горлышко может быть острым. Соблюдать осторожность. Использование данного продукта не может представлять опасность лишь в дозированных путях. Содержимое питательных веществ (на 100 г): энергетическая ценность 4 Ккал/ 16,7 кДж; Белки 0,00 г, жиры 0,00 г, углеводов 00,80 г, сахарин - 53 мг, калий - 17 мг, вода - 99 г.
Не содержит ГМО

*各 EAC シールの表示内容
品目名・商品名
原材料
容量
製造年月日

5)「黄金の秋」における日本の介護食や機能性食品の紹介及びアンケート調査

日本政府が参加するロシアでの食のイベント等へ参加し、サンプル配布や日本の介護食や機能性食品に関する技術の説明等により PR を図りました。

「黄金の秋」における日本の介護食や機能性食品の紹介及びアンケート調査

【名称】 黄金の秋（ロシア農業展示会）2018

【日時】 2018 年 10 月 10 日（水）～13 日（土）

【開催地】 開催地：ロシア連邦・モスクワ市 VDNH（全ロシア博覧センター）

【主催者】 ロシア農業省

【内容・展開】 日本の介護食や機能性食品の紹介、試食及びアンケート調査

黄金の秋は、毎年秋にモスクワで開催されるロシア農業省主催の農業展示会で、2018 年で 20 回目を迎えました。70 以上のロシア国内の州・地方から 1,300 社以上が商品を展示し、外国企業も複数出展しています。展示総面積約 7 万㎡、来場者は約 14 万人で、メドヴェージェフ・ロシア連邦首相も開会式に参列しました。

展示会では病院食等展開推進事業に公募していただいた各企業の商品を展示し、試食に提供するとともにアンケート調査を実施しました。ロシアにおける介護食品・機能性食品の認知度、ニーズなどロシアの一般消費者の声を聞くことができました。

また、最終日である 13 日には、日本の介護食品及び機能性食品等に関してロシアの方々に理解を深めていただくための 30 分間のセミナーを開催しました。

【写真】 ジャパンブース外観



黄金の秋 2018 で紹介した日本の介護食品及び機能性食品等は以下の通り。

A 社	栄養補助食品(125ml) (少量・高栄養の経口栄養補助食品栄養補給飲料) 4 種類
B 社	栄養補助食品(100ml) (少量・高栄養の経口栄養補助食品・栄養補給飲料) 4 種類
C 社	乳酸菌機能性食品 (500ml) (乳酸菌を配合した体脂肪を減らす飲料・機能性食品)
D 社	とろみ材、ゼリー化材、水分補給ドリンクゼリー、栄養補給ゼリー (咀嚼・嚥下困難者向け食品)
E 社	特定保健用食品 (食物繊維の働きで糖分や脂肪の吸収を抑え食生活改善)
F 社	トマトジュース (血圧が高めの方に・機能性食品)
G 社	和食のレトルト食品 (4 段階の食べる力に合わせたユニバーサルデザインフード)
H 社	健康補助食品 (淡水産の緑藻類の一種で天然由来のホールフード)
I 社	糖質 50%オフ低糖質麺 (糖尿病患者や糖質制限に適している)
J 社	粉末緑茶 メチル化カテキンを含有したアレルギーを抑制するお茶・アントシアニンを含有したお茶)
K 社	鮭精製魚油機能性食品 (世界唯一脂溶性ビタミン全てとオメガ 3 を 45%含有)
L 社	緑茶製品 (エピガロカテキンガレードが他の品種よりも多く含まれているためカテキン含有量が高くまるごと摂取でき、抗アレルギー抑制 (花粉症・ハウスダクト等) に期待される)

【写真】 来場者に対し、上記介護食品及び機能性食品を紹介・配布



アンケート調査結果は P. 49

セミナーの実施

ジャパンプース内にセミナースペースを設けて、日本食、日本の介護食・機能性食品等を紹介し、ロシアの方々に各製品の特長や理解を深めていただくためのセミナーを実施しました。プレゼンテーションの内容については、事前に発表者と逐次通訳者の間で打ち合わせを行い、通訳者にも十分理解させるように努めました。

セミナーエリアには、75インチ大型モニター、ノートPC、マイク・スピーカー、演台、作業台、聴衆用の席（12席）を用意し、受付や展示コーナーへの来場者に向けて参加を呼びかけました。各プレゼンテーションの前に通訳者からロシア語でプレゼンテーション内容の事前告知をマイクを利用して行い、内容により集客の高低はあったものの、一部満席になるような活況ぶりで、日本の食文化へのロシア人の関心の高さがうかがえました。

プレゼンテーションの合間には、農林水産省作成の日本食PR動画を放映し、通り掛かりの参加者が足を止めて動画を視聴する姿も見受けられました。

【写真】セミナー開催時の様子



セミナー内容（抜粋）

ロシアへのテスト導入を前提とした日本の機能性を有する介護食・栄養補助食品のご紹介

- ・低栄養をサポートする機能性食品の紹介

超高齢化社会の到来により、要介護認定者は今後も増加の一途をたどると予想され、それに伴って在宅要介護者の数も増え続けると考えられている。さらに、日本では在宅要介護者の4人に3人が低栄養リスクを抱えている。（A 社栄養補助食品、B 社栄養補助食品）

- ・生活習慣病予防、体脂肪を減らす機能性を有する食品の紹介

独自の乳酸菌が含まれ、体脂肪を減らす機能があるので、体脂肪が気になる方及び肥満気味の方に適している飲料（C 社乳酸菌機能性食品）

- ・嚥下をサポートする機能性を有する食品の紹介

薬とは違う、人間が本来持っている、自己治癒力を大切にする。

介護状態であっても食べることを、いつまでも楽しむための栄養療法という考え方に基づいた製品（D 社とろみ材及びゼリー化材）

- ・介護食として硬さや粘度を規格化した機能性を有する食品の紹介

かむ力や飲み込む力といった食べる機能が低下した方にも、おいしい食事を楽しんでいただきたいとの思いから開発された、4段階の食べる力に合わせたユニバーサルデザインフード（G 社 和食のレトルト食品）

ロシア連邦政府関係者による日本ブース訪問

「黄金の秋 2018」の開会式に、ロシア連邦政府からドミトリー・メドヴェージェフ首相、アレクセイ・ゴルディエフ副議長、ドミトリー・パトシェフ農業大臣、日本から吉川農林水産大臣が出席しました。

メドヴェージェフ首相は各ロシア国内から出展をされている農業展示のブースの視察後、ジャパンブースも訪問し、吉川農林水産大臣から介護食品及び機能性食品等が紹介されました。

【写真】講演するメドヴェージェフ首相



【写真】農林水産省ブースを訪問するメドヴェージェフ首相と吉川農林水産大臣



2 介護食品及び機能性食品等のテスト導入

1) 介護食品及び機能性食品等のテスト導入にあたって

日本の介護食品や機能性食品等のロシアにおけるテスト導入を実施するにあたってロシアの栄養研究機関及び病院等と連携して、実施内容を精査、商品特性に合わせたアンケート調査等ロシア市場への参入を前提としたテスト導入及び調査を実施しました。

また、日本側とロシア側事業参加者との連携によりロシア側のニーズに合わせ改良された食品の紹介及び試食会を行いました。

2) 日本の介護食品及び機能性食品等の試食・アンケート調査

ロシア国内に複数の薬局とクリニックを展開するロシア企業と連携し、モスクワ市内の薬局にて日本の介護食品・機能性食品の試食・アンケート調査を実施しました。アンケート項目にはロシア市場を見据え、販売予想価格を提示し、品質などの商品特性及び嗜好性について消費者の生の声を調査することができました。

ABC メディツィナ（ABC 薬局）におけるアンケート調査

一般消費者を対象とした、介護食品・機能性食品等の試食及びアンケート調査

ア 実施場所：ABC 薬局（モスクワ）

【ABC 薬局の特長】

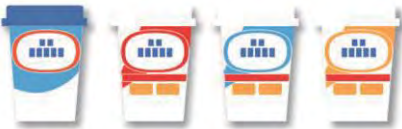
ロシアのトップ 50 に入る民間医療チェーン「ABC メディツィナ」附属の薬局。

モスクワに 7 店舗展開。当チェーンはモスクワ市内及びその周辺に 10 のクリニックを持ち、上記 7 店舗中 2 店舗はクリニック内にある。チェーンの CEO Mr. Oleg Kaybelov は日本渡航歴があり、自社薬局内に日本製品コーナーを設けたいと考えている。

イ 実施期間：1 回目：3 月 8 日（金） 2 回目：3 月 15 日（金）

ウ 対象者：薬局顧客 60 名（アンケート） 薬局関係者 3 名（ヒアリングのみ）

エ 対象商品（企業名・商品名・配布数・味・イメージ）

A 社	栄養補助食品(125ml) 4 種類（フレーバー） 各味 24 個 計 96 個	ヨーグルト味	
		コーンスープ味	
		ストロベリー味	
		白桃ヨーグルト味	
B 社	栄養補助食品(100ml) 4 種類（フレーバー） 各味 15 個 計 60 個	バナナミルク味	
		コーヒー牛乳風味	
		いちごミルク味	
		バニラ風味	
C 社	乳酸菌機能性食品（500ml） 24 本		
D 社	栄養補給ゼリー 3 種類（フレーバー） 各味 30 個 計 90 個	オレンジ味	
		青りんご味	
		ピーチ味	
	水分補給ドリンクゼリー 30 本		
とろみ材 20 包			

オ 実施内容

朝 8 時～夜 9 時にかけて ABC 薬局が入っているクリニック 1 階ロビーにて試食会を実施。

【写真】 試食会場



※アンケート結果は P. 56

3) 日本・ロシア連携による嚥下食に関する開発・改良された食品のテスト導入

D 社における、嚥下食に関する開発・改良された食品のテスト導入

【日時】平成 31 年 2 月 28 日（木）

【場所】D 社

【内容】・嚥下食に関する説明

- ・同社製品を用いた嚥下食品の調理実演・試食
- ・意見交換

ロシア側のニーズに基づき日本のとろみ材を用いて、病院食嚥下食として改良された介護食の調理実演・試食を通して、導入にあたり日本側・ロシア側との意見交換を行いました。

＜D 社製品とろみ材・ゼリー化材を用いたロシア側ニーズに即した嚥下食メニュー＞

- ・りんごジュース（D 社とろみ材使用）
- ・ボルシチ（肉）（D 社ゼリー化材使用）
- ・ボルシチ（じゃがいも）（D 社おかゆ用ゼリー化材使用）
- ・カーシャ（D 社おかゆ用ゼリー化材使用）

【写真】D 社にて嚥下食メニューの調理実演・試食



3 嚥下食や機能性食品等のロシアの病院食へのテスト導入

テスト導入に先立ち、日本から専門家をロシアへ派遣して一般的なロシアの病院食の物性を変えて嚥下食として提供するための現地病院関係者への調理実演、レクチャー及びアンケート調査を行いました。

1) 医療・栄養学のカンファレンスでの嚥下食の調理実演と病院での意見交換

【カンファレンス名称】 XVII Russian wide Congress with international attendance

“Fundamental and applied aspects of Nutritional science and dietology. Curative, preventive and sports nutrition”

第 17 回ロシア国際会議

「スポーツ、ダイエット、予防と医療栄養の基礎と適用」

【期間】 平成 30 年 10 月 29～31 日

【場所】 Russia Radisson Slavyanskaya Hotel（モスクワ）

（事前準備：7/31 日栄養研究所附属病院、8/1 高齢者クリニックにそれぞれ訪問）

【日本からの派遣専門家】

D 社 薬剤師

【対象】 カンファレンス参加ダイエットドクター等病院関係者

ロシア高齢者科学クリニックセンター（訪問）

連邦栄養・バイオテクノロジー研究センター附属病院（訪問）

【実施方法】 ・嚥下についてのレクチャー

・嚥下食の調理実演、レクチャー

一般的なロシアの病院食（肉料理、茹で人参、トマト）を日本のとろみ材等を用いて嚥下食の調理実演を行うとともに、嚥下食に関するレクチャー及びアンケート調査を行いました。

連邦栄養・バイオテクノロジー研究センター及びロシアの栄養学・医療関係機関が主催する医療・栄養学のカンファレンスにおける展示ブースにおいて、日本の介護食品及び機能性食品を展示、アンケート調査を実施しました。ロシアの栄養学・医療関係者に対し日本の嚥下食や機能性食品の認知度の向上を図るために、嚥下食の調理実演、ビデオ放映等を行いました。高齢者に負担の少ない量で豊富な栄養素を摂取できる栄養補助食品や、とろみを段階的に変えられるとろみ食用テクスチャー改良材への注目度は高く、高齢化社会の課題解決に向けたロシア関係者の関心の高さがうかがえました。

また、カンファレンスの事前準備として連邦栄養・バイオテクノロジー研究センター附属病院及びロシア高齢者科学クリニックセンターを日本の介護食品企業が訪問し、嚥下食に関する説明及

び意見交換を実施、カンファレンスで調理実演する食材として肉料理を選定しました。会場では火器が使用できないためビデオを介し、調理工程を説明。最後の盛り付け部分を実演しました。温度変化により流動物が固まり、成形することで元の美味しそうな料理へと変化、食味だけでなく見た目も味わいの一部であると再認識されました。

【写真】カンファレンス参加の様子



カンファレンスのレクチャー時におけるスライド(抜粋)



Copyright © 2011, Nutri Co., Ltd. All Right Reserved

【写真】嚥下食の説明・試食





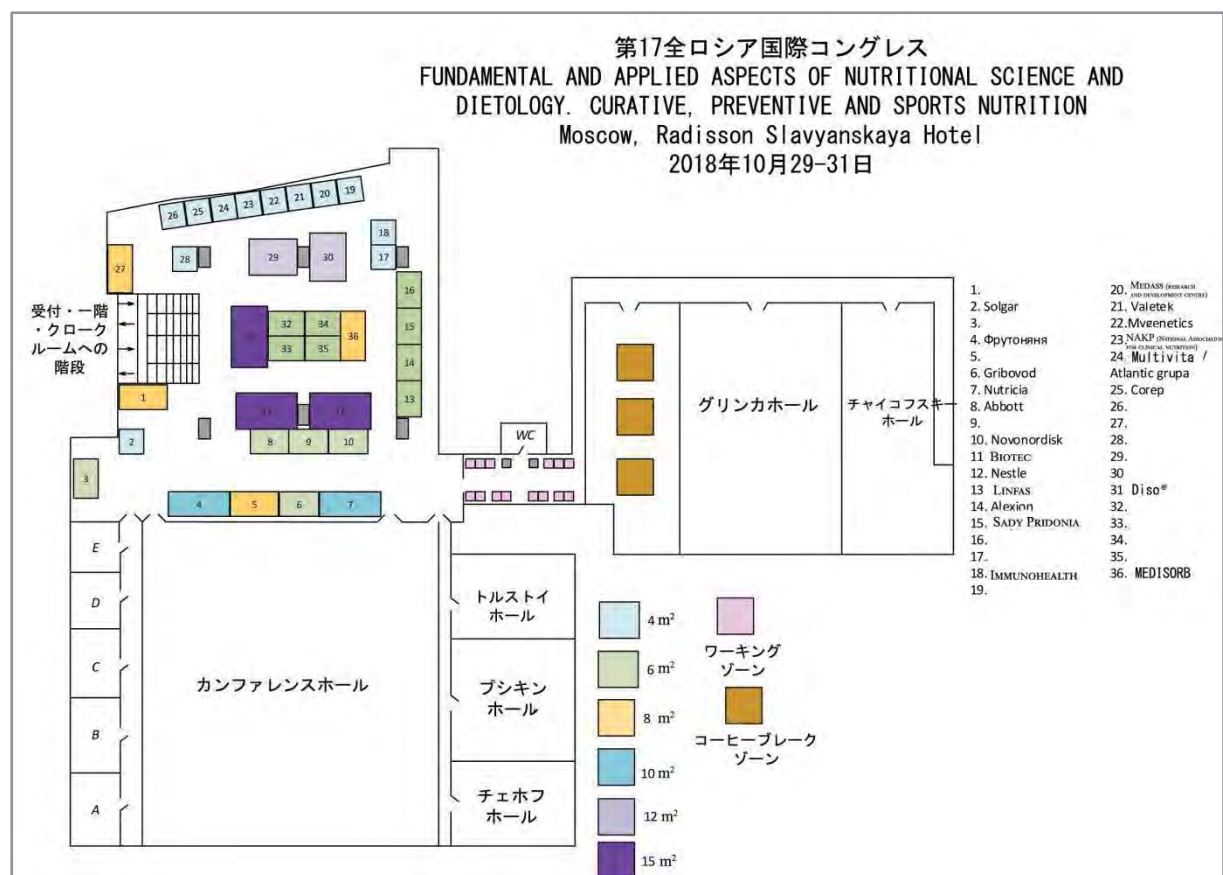
カンファレンススケジュール

10月29日					
	カンファレンスホール	<ムソルグスキー>ホール	<トルストイ>ホール	<プーシキン>ホール	<チェーホフ>ホール
10：00～11：30	セクター 1	セクター2	セクター3	セクター 4	10：00～10：45
	治療食に関する課題	子供の栄養に関して	母乳が乳児に対してどのくらいの期間栄養源として効果があるか？	基礎研究：食品品質と安全管理の経営戦略	セクター5.1
			1時間目：母乳についての新たな提案		臨床的なデータに基づいて、健康な人におけるヨーグルトの影響を考える
					10：45～11：30
					セクター5.2
					機能的消化器疾患のコントロールについて
11：30～11：45	休憩：ポスターセッション				
12：00～13：30	セクター6	セクター7	セクター8	セクター9	11：45～12：30
	メタボリックシンドロームとがん患者の安全な栄養補給：個人の臨床栄養学的アプローチ	国際臨床栄養学学会	母乳が乳児に対してどのくらいの期間栄養源として効果があるか？	基礎研究：食品品質と安全管理の経営戦略	セクター10.1
			2時間目：イノベーション：母乳内オリゴ糖の効果		子供に対する栄養不足と機能的消化器疾患の予防
					12：30～13：15
					セクター10.2
					腸の栄養について
13：15～13：45	休憩				
	カンファレンスホール				
13：45～14：25	コンGRES開会式				
14：25～14：45	コンサートプログラム				
14：45～16：45	本会議				
16：45～17：00	休憩：ポスターセッション				
17：00～18：30	本会議				

10月30日					
	カンファレンスホール	<ムソルグスキー>ホール	<トルストイ>ホール	<プーシキン>ホール	<チェーホフ>ホール
	セクター11	セクター12	セクター13	セクター14	セクター15
10:00~11:30	生化学的な食べ物の安全性：基本的に適応されている側面について	ロシア連邦におけるGMOの売上改善について：原材料と完成品の品質及び安全性に関する州規制	健康のための栄養と病気の原因となりうる接触について	治療および予防的な専門栄養食品について	研究者連合〈アイデアから実施まで〉によるプレゼンテーション
11:30~12:00	休憩				
	セクター16	セクター17	セクター18	セクター19	セクター20
12:00~13:30	国家プロジェクトのビタミン供給を増加させる革新的方法：元気に長生きする方法	ロシア連邦におけるGMOの売上改善について：原材料と完成品の品質管理における州規制	健康のための栄養と病気の原因	健康と長寿のための脂肪含有食品について	研究者連合〈アイデアから実施まで〉によるプレゼンテーション
13:30~14:00	休憩				
	セクター21	セクター22	セクター23	セクター24	セクター25
14:00~15:30	子供の身体発育とロシア連邦の成人における栄養評価	栄養学、身体発達とスポーツ：健康と長寿のための方法	学齢期の子ども達の食生活における環境	精神的、医学的、社会的観点からみるキリスト教の断食	研究者連合〈アイデアから実施まで〉によるプレゼンテーション
15:30~16:00	休憩				
	セクター26	セクター27	セクター28	セクター29	セクター30
16:00~17:30	元気に長生きするためのビタミン	スポーツで最高のパフォーマンスをするための革新的、科学的、系統的方法	小児消化器疾患の過去の問題を現代の方法で解決する	消化器系疾患のパersonナライズ化された食事療法：基本的に適応されている側面	YRSA2018コンクール受賞者のための授賞式 講評

10月31日					
	カンファレンスホール	<ムソルグスキー>ホール	<トルストイ>ホール	<プーシキン>ホール	<チェーホフ>ホール
10:00~11:30	セクター31 現代栄養学におけるゲノム技術とポストゲノム技術	セクター32 肥満について：実際の問題点	セクター33 アレルギー疾患の子供の食事療法およびビタミン欠乏の改善	セクター34 実際の実装までの方向性：品質改善戦略	セクター35 実際の食料安全問題：マイコトキシン
11:30~12:00	セクター36	セクター37	セクター38	セクター39	セクター40
12:00~13:30	地域的観点から見た栄養評価	肥満患者の現代的な管理方法	食物アレルギーのある幼児の管理に対する現実的な問題点	革新的なバイオテクノロジーは特別な食品を産み出す	動物性原料の工業処理
13:30~14:00	セクター41	セクター42	セクター43	セクター44	セクター45
14:00~15:30	医療科学とメディアの連携は健康的な生活をするための効果的な方法である	肥満とその関連疾患の診断	幼児の栄養について：何が新しいのか？	特定機能食品のベーカーリーとペストリー：開発の現代的な方法、新しい生産技術、実装の問題	子供の栄養のついて：生産の問題
15:30~16:00	セクター46	セクター47	セクター48	セクター49	セクター50
16:00~17:30	全ロシア会議 <ロシア栄養士・食品産業専門家連合>	栄養素とヒトマイクロバイオームの形成と正当化の新しい方法	食物アレルギーの予測と予防における新たな言葉	ロシア連邦における食品産業発展の見込みと予測	北の地方や北極圏における栄養の最適化：基本的に適応されている側面
17:30~18:00	講評、採決会議、閉会式				

カンファレンス見取り図



※カンファレンスにおけるアンケート結果は P.52